

## ■ 「効果の見える治水事業」

### 愛媛県 楠崎川（新居浜市郷）の砂防事業

『楠崎川砂防えん堤工事が平成18年3月に完成』

愛媛県土木部河川港湾局砂防課長 西井 洋史



#### ■事業の概要

##### ○被災実績

平成16年の相次ぐ台風などにより県内では東予東部地域を中心に、犠牲者17名となる甚大な土砂災害が発生しました。

新居浜市郷の楠崎川では、8月17日～18日にかけての台風15号により、大規模な土石流が発生し、1名が犠牲になるほか、下流の家屋28棟、鉄道などに甚大な被害が生じました。

##### ○実施内容

平成16年の土砂災害発生箇所については、市町などと役割分担しつつ対策を講じ、県においては、すみやかに「災害関連緊急砂防事業」などを活用し、30箇所を砂防施設を整備しました。さらに、甚大な土砂災害が発生した東予東部地域においては、平成17年度より3箇年で、「砂防激甚災害対策特別緊急事業」を活用し、41渓流50箇所において砂防施設を重点的、集中的に整備してきました。

甚大な被害が生じた楠崎川では、下流の地域が再び被害を受けることがないように、人家77棟、鉄道などを守るため、平成16年度から遊砂地を伴う砂防えん堤工事に着手し、平成18年3月に完成しました。

県においては、市町など関係機関と連携し、今後とも土砂災害から**住民の生命や財産、さらには豊かな自然・文化、生活などを育む地域の安全を確保**するため、砂防施設を計画的に整備するとともに、土砂災害警戒区域の指定など、ソフト対策にも重点的に取り組むこととしています。

##### 『楠崎川の被害状況』

死者	1名	鉄道（JR）埋没	
家屋全壊	8棟		250m
家屋半壊	3棟	道路埋没	200m
床上浸水	8棟	橋梁流失	1基
床下浸水	9棟	畑冠水	0.4ha

##### 『楠崎川砂防えん堤と保全対象』

えん堤形式	鋼製砂防えん堤
えん堤規模	H=7.5m、L=100.8m
効果量	えん堤背後の遊砂地に約20,000m <sup>3</sup> の土砂を堆積可能
保全対象	人家77棟 田畑1.0ha 鉄道（JR）340m 等

##### 『被災直後の状況』



##### 『砂防えん堤完成後の状況』



## 談話室

### 『砂防事業を活かす新居浜市の取組』

新居浜市長 佐々木龍



新居浜市は、愛媛県の東部に位置し、燧灘に面した細長い平野部と、東西に丘陵地、中央構造線を境にして南は山地となっています。平成15年度に、平成における愛媛県内合併の第一号として、別子銅山を通して文化的、歴史的背景を共有し、強い結びつきのあった「別子山村」との合併を行いました。

気候の特徴は、典型的な瀬戸内海気候で、降水量が少なく、温暖で、台風、季節風や積雪も少なく、暮らしやすい土地であるといわれていました。しかし、平成16年には、5個の台風が、新居浜市に影響を与え、大きな被害をもたらした8月18日の台風15号では、2時間で約110ミリ、9月29日の台風21号では、5時間で約190ミリを記録したように、短時間に大量の雨が降りました。それまで、災害の少ない町という思い込みがありましたから行政も市民も大きな衝撃を受けました。

平成16年の災害の特徴は、まず、土砂災害が多発したことです。次に、浸水被害が多発しました。特に斜面の崩壊によって河川に流れ込んだ大量の土砂と流木が、橋脚や暗渠部分に詰まり、河川をあふれさせて広範囲の市街地が浸水いたしました。また、国道、高速道路、主要幹線道、JR等にも大きな被害が発生し、本市から東の四国中央市方面へ向かう陸路が完全に遮断されるなど、交通に多大な影響を与えました。

その後、国土交通省、愛媛県により災害発生箇所の復旧工事を始め砂防施設の整備を精力的に進めていただいております。また、土砂災害警戒区域の指定などのソフト対策にも取り組んでおります。

新居浜市では、「避難勧告等の判断基準」の設定、避難勧告対象地区の検討、情報伝達体制の整備などの対策を進めています。その一つに、小中学校での防災教育があります。このうち、多喜浜小学校では、「多喜浜防災まち歩きプロジェクト」として、愛媛大学防災情報センターをはじめ、四国地方整備局、愛媛県の支援を得て、16年災害の被災箇所や工事の行われている箇所を地域の大人と一緒に歩き、聞き取りをして防災マップにまとめていきました。平成20年度からは、市内の全小中学校で実施する予定です。本市の防災対策は、まだ緒に就いたばかりですが、国、県をはじめ関係機関、市民の協力をお願いして、災害に強いまちづくりを推進していきたいと考えております。



H19.8.25「多喜浜防災まちあるきプロジェクト発表会」で、まちあるきや聞き取りの結果をまとめた防災マップについて発表する子どもたち。



H19.7.25「多喜浜防災まちあるきプロジェクト」で被災箇所新たにできた砂防堰堤のしくみやはたらきについて説明をうける様子。